

<b>科目名：地域・在宅看護技術論</b> ( Community and Home Care Nursing Technique ) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態：講義・演習 担当教員：石川徳子（実務経験有）		必 2 単位
学修目的	地域・在宅で生活する人々と、その家族について理解し、在宅看護に必要な生活援助技術および医療管理技術を理解する。 DP 3, CP5 に関連する。 科目No. KNz-206	
到達目標	① 在宅における生活支援の特徴と方法について述べるができる。 ② 在宅における医療処置管理の特徴と方法について述べるができる。 ③ 在宅における看護過程展開の特徴と訪問看護師の役割につて述べるができる。	
授業概要	在宅看護における療養者（児）の状態を理解し、身体状況に合わせた日常生活援助のセズメント、活用できる制度、在宅看護過程の展開を通して看護実践と評価を行い、安全、安楽な看護技術を学ぶ。	
評価方法	演習レポート（40%）・定期試験（60%） 試験に関するフィードバックは掲示で行う	
予習・ 復習時間	【予習】 2.0h 【復習】 2.0h	
教科書	地域・在宅看護の実践（医学書院）2023	
参考書	渡辺裕子：家族看護学を基盤とした在宅看護論Ⅰ（概論編） 第4 版, 日本看護協会出版会, 2022 地域・在宅看護論（医学書院）2023 国民衛生の動向 2022/2023（厚生統計協会）	
オフィス- 連絡先	石川徳子 15:00~17:00 3 号館 3 階研究室 ishikawa.tokuko@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。	